

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2025 年 3 月 1 日（土）	14 時 00 分
終了日時	2025 年 3 月 1 日（土）	16 時 30 分
名称	第 145 回 CPD 専門知識向上講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市文化センター9 階会議室 2・3・4 会議室＋ZOOMリモート講演	
行事内容	1. 主催者挨拶 熊田 成人 支部長 2. 講演者紹介 竹田 雅美 技術士 3. 講演 持続的な水産業のために～千葉県水産業の現在と将来を考える～ 講師：小林 創 先生（公益財団法人 海洋生物環境研究所中央研究所主任研究員、千葉県支部広報委員会委員長、技術士（水産部門）、潜水士、港湾海洋調査士、土木施工管理技師、ビオトープ管理士）	
参加人数	会場出席者19名、リモート講演出席者7名、合計26名	

講演概要

千葉県水産業の現在の状況と将来を考察し、持続可能な水産業のために必要な視点と情報収集方法について講演して頂いた。講師の小林氏は、2020 年まで建設コンサルタント会社にて海域、河川、湖沼の環境調査に 30 年間従事し、現在は公益財団法人 海洋生物環境研究所の主任研究員として、発電所周辺海域の環境保全に関する調査研究を専門としている。千葉県は全国的に見ても重要な漁業地域である外房、内房～東京湾を有しており、千葉県水産業は多様な魚種を対象としている。水産業の持続可能な維持・向上のための視点として、健全な生態系の維持が重要、生態系ピラミットの安定には十分な基礎生産（広い土台）が必要、沿岸域の生物生息場の多様性と選択枝の確保などが重要となっている。持続可能な水産業の実現には、海域と生物と環境との関わりを知る「質の高い調査」と、そのための適切な管理が重要である。調査結果は、安全で安定した海域利用の基礎データとなるものでなければならない。水産業を支える海域・水域調査に必要な監理として、各種基準・規定・規則に順った調査結果の品質管理、各種資格要件者による調査の安全管理、調査結果における「質」の監理と「質を得る体制のため」の管理が不可欠となっている。など、持続可能な水産資源の確保に向けた水域環境調査によるデータの蓄積が、水産業の維持・向上に繋がる。



写真一：講演会場風景



写真二：講師講演状況